

ボランティア新聞 VOL.8



会員の声

つばき会会員を引き受けるとき

「5年は頑張って」と言われ、

頑張りすぎて19年目に入っています。最初は何も分からず知らない人たちの中でしたが、時が経つにつれ、いつの間にか仲良くなり一緒に楽しく笑ったり、お喋りを

したり、「こういうことが長続きで

きている秘訣かなと思つていま

す。

後期高齢となり、頭、身体的にも大丈夫かなと思いつつ、皆さんに支えられながらおいしいお弁当を作り、利用者にお届けできるとい

うのは幸せなことなのかもしれません、もう少し頑張ろう!

今回は、里庄町ボランティア「つばき会」についてご紹介

します！

つばき会は、75歳以上で一人暮らしの高齢者（以下利用者）へ見守りを兼ねてお弁当をお届けするボランティア団体です。

明るく元気な会員さんが作るおいしい手作り弁当は利用者からもおいしくと大好評ですよ♪

今回はそんな「つばき会」会員さんたちの声を集めました。



M.
F

つばき会に入つて十数年！
「あつ」という間でした。
つばき会に入つて十数年！
「あつ」という間でした。

つばき会に入つて十数年！
「あつ」という間でした。
つばき会に入つて十数年！
「あつ」という間でした。

2か月に1回お弁当を作つているつばき会員です。毎回スムーズに進む慣れた作業の中で、会員同士のお話が楽しみです。材料の切り方、味付けなどにも話の花があり、和氣あいあいとした中、お弁当ができあがつていきます。

あとは、食べてくださる方へと届くだけです。

一緒に活動してくれるボランティアさん募集中ですにや

お弁当を配るだけで
も歓迎にや

利用者様に配り、皆さまの「ありがとう！」の暖かいお言葉にまた嬉しくして帰ることができます。「一緒に作つてくださる方」「頂いてくださる方」皆さまに感謝の十数年でした。

Y.
N

つばき会の会員になつてボランティア活動を始めてもう10年を過ぎました。

「ここにちは、お弁当を持ってきました。」「ありがとうございます」と言わせてほつとしましたと同時に嬉しくなつたのが最初でした。

活動をしながら会員の方々といろいろな行事に参加したり、同じ班の方と弁当作りの間にするお喋りも楽しみです。

これからもできるだけ頑張つていこうと思っています。

つばき会へ入会して早いもので12年余り。入会した時、「あなたは前から居るみたい。煮物を担当して、味付けして」と言われました。「少人数の味付けと違って、多数の人の味付けは無理」と言つても「できる」と言つて今に至つています。

利用者の安否確認を兼ねたお弁当も喜んでくださるので、これからも頑張つて作りたいと思います。

つばき会へ入会して早いもので12年余り。入会した時、「あなたは前から居るみたい。煮物を担当して、味付けして」と言つて今に至つています。

利用者の安否確認を兼ねたお弁当も喜んでくださるので、これからも頑張つて作りたいと思います。

つばき会お弁当紹介!



A1班(7月)

ごはん、豚のしょうが焼き、ピーマンとこんにゃくのきんぴら、新じゃが芋とちくわの煮物、野菜のごま酢あえ



B1班(12月)

ごはん、焼き魚、茹でキャベツ、煮物、ポテトサラダ、ほうれん草のゴマあえ



A2班(5月)

ごはん、鮭の塩焼き、酢の物、かぼちゃのコロッケ、五目豆



B2班(4月)

ごはん、筑前煮、だし巻き卵、フライ、酢の物

8月5日（第一月曜日）に学生ボランティアを受け入れました。今回は中学生、高校生の男女4人でした。手洗いに始まり、机や容器の消毒、清潔保持、そして配膳をしました。その後4人は大原中、才申へ会員と一緒に配達をしました。130食を短時間でパツク詰めました。Y.Dボランティアつばき会を知つてもらひ、ボランティア活動に役立つたでしょうか？高校のボランティア部に所属している彼には今後の活躍を期待しています。

夏ボラ



社会福祉法人

里庄町社会福祉協議会